価値創造プロセス

あすか製薬ホールディングスは、100年にわたり培った「あすかのDNA」を成長の源泉とし、医療用医薬品事業・アニマルヘルス事業・検査事業を展開し「スペシャリティファーマを基盤とするトータルヘルスケアカンパニー」を目指しています。こうした価値創造の循環を通じて、ヘルスケア領域における社会課題の解決に貢献していきます。

SOCIAL ISSUES

- 有効で安全な医薬品の安定供給
- 女性の社会進出への貢献
- アンメットメディカルニーズへの対応
- 動物の健康
- 健康寿命の延伸

11のマテリアリティ

▶ P.27-28

女性の健康への貢献

アニマルヘルスへの貢献　ほか

INPUT

財務資本
売上高：628億円
営業利益率：10.3%
ROE：13.0%

製造資本
設備投資額：15億円
生産拠点：いわき工場

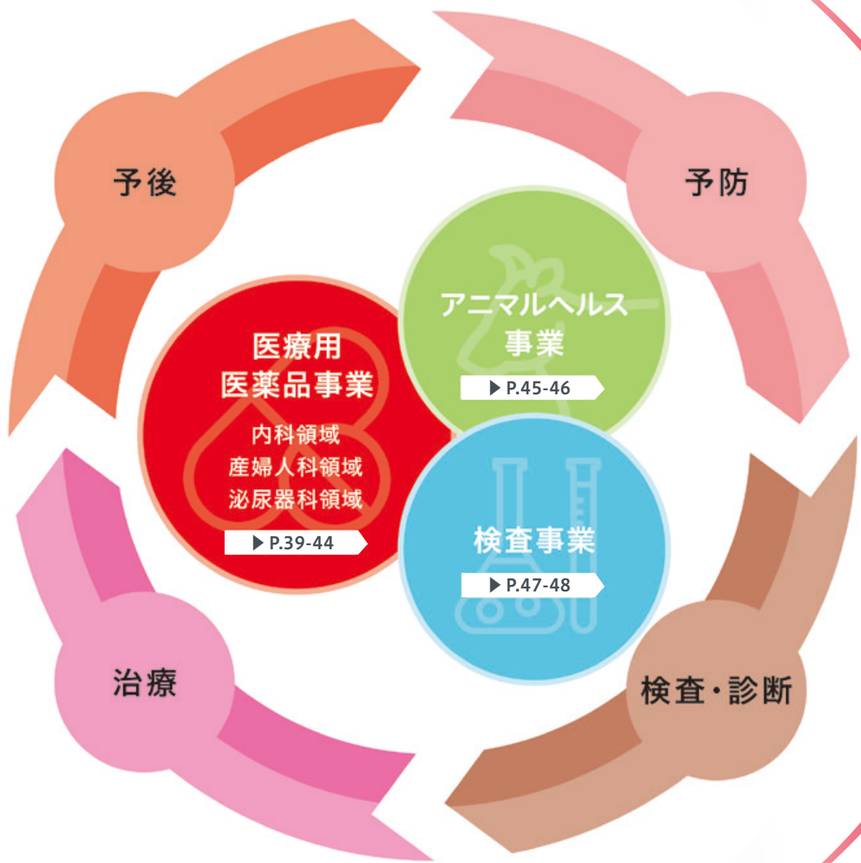
知的資本
研究開発費：47億円
研究拠点：湘南研究所

自然資本
CO_2排出量：8,997t-CO_2
電力使用量：11,754千kWh
水使用量：170.62千km³

社会関係資本
主要事業所：23拠点

人的資本
従業員数：762名（連結）

BUSINESS MODEL



OUTPUT／OUTCOME

経済価値

2025年度目標（連結）
売上高：700億円
営業利益率：8%
ROE：8%

社会的価値

- 高品質な医薬品の安定供給
- オープンイノベーションによる創薬の推進
- トータルヘルスケアに向けた新たな取り組みと価値提供
- 女性のQOL向上、女性活躍推進
- 人と動物の共生
- ヘルスリテラシーの向上
- 予防医療・未病改善

目指す姿

スペシャリティファーマを基盤とするトータルヘルスケアカンパニー

コーポレート・ガバナンス、コンプライアンスの徹底／サステナブル経営

経営理念：先端の創薬を通じて人々の健康と明日の社会に貢献する